

持続性注射剤（Long Acting Injection:LAI）治療について

持続性注射剤はLAIやデポ剤などと呼ばれる製材で、1回の注射で2-4週間効果が持続します。一般的に精神科で使用されている剤型の1つです。

持続性注射剤は、精神症状が安定するだけでなく、副作用が少なくなる、飲み忘れ防止、服薬からの解放を患者さんにもたらすことで、より一歩進んだ治療として患者さんの社会復帰を後押しする製剤として注目されています。また、近年開発された持続性注射剤は、痛みが少なく、肩への投与が可能なため、患者さんの負担が軽減されてきています。

アンケート調査でも再発予防のために重要だと答えた精神科医は70%以上でしたが、実際に実施している医師は約30%という結果が出ました。全ての精神科医療機関で実施してる治療方法ではないというのが実情です。

当院では新しく発売したエビリファイ持続性注射製剤も採用しております。



患者さんご本人の 持続性注射剤のメリット

- 精神症状がより安定する
- 服薬のわずらわしさが減った
- 飲み忘れをいにしないで安心
- 副作用が少なくなった
- 活動的になった

ご家族・支援者の方々の 持続性注射剤のメリット

- 服薬しているかについて心配することが少なくなった
- 薬を飲むように言わなくて済むので家族関係が良くなった
- 自分の時間が増えた

依存症と統合失調症の関係について

抗精神病薬の服薬アドヒアランス（服薬継続）についての報告で、次の4項目に当てはまる患者さんは『服薬アドヒアランスを長期的に維持しにくい』という調査結果が明らかになりました（※）。薬物依存症やアルコール依存症と統合失調症が合併している方にはお薬を飲み続けることの難しさを示しています。

- 違法薬の使用（麻薬等）
- アルコール飲用
- 以前に抗うつ薬を使用
- 認知機能障害

※米国で1997年から2003年まで実施された調査研究より

患者様とご家族、ケースワーカーの方へ

- 薬剤を整理したい（飲み薬を減らしたい）
- 人前（職場や学校等）で服薬を避けたい
- 精神症状をより安定させたい（精神症状の悪化・再発を抑えたい）
- 薬の副作用で悩んでいる
- 家族の服薬の確認が難しい

上記のようなケースでお悩みの方には持続性注射剤は特に有効な選択肢です。

持続性注射剤をご検討されている方、説明をご希望の方は主治医もしくはスタッフにご相談ください。